

『提案』 将来を見据えたソフトリーダー等の事業推進について

ソフトリーダープロジェクト委員会

- 1 ソフトリーダープロジェクト委員会の設置
(平成29年4月15日企画委員会にて)
- 2 委嘱委員
委員長 田中 清 副委員長 橋爪 裕 高塚健治
委員 川口信明(欠席) 倉知典裕 片山仁士 村山圭一
(アドバイザー 岩本 洋) (田原佐智子…会議録)
- 3 第1回委員会 平成29年6月25日(大阪府)
第2回委員会 平成29年8月19日(大阪府)
延べ約5時間の協議を実施
- 4 将来を見据えたソフトリーダー等の事業推進について
 - (1) 2021年度からアクティブソフトリーダー資格を新設する。
すなわち、2020年度までは現行のソフトリーダー養成講習会、
2021年度からはアクティブソフトリーダー養成講習会を開催する。
なお、その講習内容は原則として現行と同様とする。
資格付与は4年間としその間に研修事業を受講すれば更新する。
 - (2) 2018年度から先行事業として、現行ソフトリーダー資格者に
アクティブソフトリーダー資格への移行に関する事柄を周知する。
2018～2020年度内に現行ソフトリーダー資格者が、各都道府
県で開催されるリーダー(A)研修事業を受講すれば、日本連盟リーダ
ー(A)資格を付与する。各都道府県が開催するリーダー研修事業の内
容については、日本連盟が示す。(実施要項案を参照)
 - (3) 2021年度から日本連盟リーダー(A)資格者は、無条件でアクテ
ィブソフトリーダー資格を認定する。
 - (4) 現行ソフトリーダー資格は終身であり、剥奪するものではない。
 - (5) 現行ソフトリーダー資格者で一時期活動実績がなく、改めて活動を開
始する場合は、リーダー(A)研修事業を受講すれば、アクティブソ
フトリーダー資格を付与する。

『別添のソフトバレーボールリーダー資格のシミュレーションを参照』
- 5 今後の課題について
 - (1) リーダー(A)研修事業の再構築を行う。
 - (2) (公財)日本バレーボール協会と新制度について協議し、決定する。
- 6 その他

○ ソフトバレーボールリーダー資格のシミュレーション

年度	2016以前	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	備考
① 連絡取れず	リーダー資格取得者												リーダー資格継続
②-1 活動実績なく、リーダー資格継続の意志なし	リーダー資格取得者	↑	リーダー研修事業の案内せず										リーダー資格継続の意志なしの確認がとれた段階で資格喪失
②-1 活動実績はないが、リーダー資格はもっておきたい	リーダー資格取得者												リーダー資格継続
②-2 活動実績なし、リーダー資格継続の意志あり	リーダー資格取得者												リーダー資格継続の意志があれば、本格実施後の例えれば2022年度に受講してもよい
②-3 リーダーとして活動中	リーダー資格取得者	↑	研修	リーダー(A)	アクティフ		研修事業	アクティフリーダー					リーダー資格取得者が2022年度に研修事業を受講しアクティフリーダー資格を継続
②-3 リーダーとして活動中	リーダー資格取得者	↑	研修	リーダー(A)	アクティフリーダー		研修事業	アクティフリーダー					リーダー資格取得者が2023年度に研修事業を受講しアクティフリーダー資格を継続
②-3 リーダーとして活動中	リーダー資格取得者	↑	研修	リーダー(A)	研修リーダー(A)		研修事業	アクティフリーダー		研修事業	アクティフリーダー		リーダー資格取得者が2024年度に研修事業を受講しアクティフリーダー資格を継続
リーダー養成講習会受講者			併せてリーダー(A)授与講習会		アクティフ		研修事業	アクティフリーダー					リーダー資格取得者が2022年度に研修事業を受講しアクティフリーダー資格を継続
アクティフリーダー養成講習会受講者					アクティフリーダー講習会			アクティフリーダー					2025年度に研修事業を受講しなければ資格を喪失する。

※ リーダー : JVA
 リーダー(A) : JSVF

移行期間 ⇒ 本格実施 ※アクティフリーダー資格→4年以内に更新

2018～2020にリーダー(A)研修事業を受講していれば、2021にアクティフリーダーに自動的に移行する